

平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	地球温暖化に対応したダム等有効活用検討(濁水リスクの軽減) 経費		担当部局庁	水管理・国土保全局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H22/H23		担当課室	河川環境課 流水管理室		室長 溝口 宏樹		
会計区分	一般会計		施策名	6 水資源の確保、水源地域活性化等を推進する				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	水災害分野における地球温暖化に伴う気候変化への適応策のあり方について(答申)(平成20年6月 社会資本整備審議会)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本検討は、地球温暖化に伴い、融雪時期の早まりや降雪・降雨量の減少、代かき期の早まりなど、ダム等への水の流入・流出に係る状況の変化が予想されていることから、今後、治水等の本来の機能を損なわずに、中長期的に水利用への深刻な影響を回避していくために必要となる、最適なダム等利水施設の運用方法を確立することを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	気候変動が河川の流況へ与える影響について検討するため、気候変動予測データを整理し、将来の降水量・融雪量など気候の変化傾向を分析する。さらに、上流にダムを有するいくつかの水系を対象として、現在と比べた場合の将来の河川流況の変化について整理・分析を行うとともに、今後濁水リスクが予想される水系において、最適なダム等利水施設の運用方法を検討する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	-	7	6	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
	計	-	7	6	-	-		
	執行額	-	7	6	-	-		
執行率(%)	-	96.7%	99.8%	-	-			
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(H23年度)	
	濁水影響度(取水制限率×日数)		成果実績	日・%	7,259	2,255	調査中	5,300
			達成度	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	最適なダム等利水施設の運用方法		活動実績(当初見込み)	%	-	55	100	-
					(-)	(55)	(100)	(-)
単位当たりコスト	13(百万円/調査検討)		算出根拠	実績額を1業務で除している				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	なし							
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化といった現在進行中の不確実性が伴う問題に対し、早急に対応策を検討する国民的ニーズがある。 ・検討には高い技術力及び長期的な視点が必要であることや、広域的な水資源管理のあり方について検討するものであることから、国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・委託・請負が必要な部分については、プロポーザル方式により競争性を確保している。 ・費目・使途は本施策に必要な検討に要するものに限っている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・本施策の成果(アウトカム)は、現場に適用した後に表れるものであるが、本業務の活動実績(アウトプット)は、漏水リスクの軽減に向けた取り組みを行う上で有益なものである。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・施策は必要性が十分に担保される内容となっており、打合せ等により業務の進捗状況等及び予算の執行状況の把握を行い、適切に業務が遂行され、予算が目的に沿って効果的に使われていることを確認している。 ・活動実績は、各現場において漏水リスクの軽減に向けた取り組みを今後行う上で、有益なものである。 ・本施策は平成23年度までの2ヶ年で実施する計画であり、当初の目的を達成したことから、廃止が妥当である。 	
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	0178

国土交通省
6百万円

地球温暖化に対応した
ダム等有効活用に係る
情報収集、企画・立案等

【示達】

A.国土技術政策総合研究所
6百万円

・全国88水共同域を対象とした、地
球温暖化により渇水の危険性が高
まる地域の抽出
・特定の流域を対象とした、地球温
暖化による渇水の危険性の評価

【プロポーザル方式】

B.日本工営 株式会社
6百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	地球温暖化に対応したダム等有効活用検討(温水リスクの軽減)経費	6			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	気候変動が水資源管理に与える影響検討業務	6			
計		6	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国土技術政策総合研究所	全国を対象とした、地球温暖化により渇水の危険性が高まる地域の抽出、特定地域を対象とした水需給評価	6	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本工営 株式会社	全国、特定流域を対象としたデータ整理、水収支計算	6	4	100%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					